

濕度の年變化からみた氣候區

理學博士 鈴木清太郎

農林省農事試驗場九州支場

關係濕度の年變化は第一は週期、第二は位相、第三は振幅即ち較差によつて特徴づけられる。日本海沿岸地方に現われるものは一年2週期で、最低濕度は4、5月の交に一つ、11、12月の交に一つである。太平洋沿岸は一年1週期で、普通は2月に最低が現われる。然し北海道の太平洋側のは12月頃である。日本海型は日本海に面する處ばかりでなく、東北地方では太平洋側に侵入して、青森から福島市あたりまでその勢力下にある。

以上が従來の氣温、降水量からみた氣候區と異なる主なるものである。猶その他、長野縣を中心とする隣接三縣に、太平洋型の1週期のものであるが最低濕度が4、5月の交に出現するものがあり、滋賀縣や瀬戸内海に現れる一般に振幅の小さい太平洋型、及び夏から冬にかけて高原の様に一樣に濕度の高くなる山岳型がある。

猶この關係濕度から全世界の氣候を區分する一般方法に就いて言及したい。

